

雪の河口へ

この突然の氷塊の崩れ
この思いがけない痛惜の冬
胆振の東の一筋の川の

春いまだ見えず
名にしおわば地に驕れる花なるべきを
何事がこれほど急激に
熱誠熱涙の魂を沈めようとするのか

わしら高齢者の映画制作に
あなたは二度出演してくださった
その若いあなたがわしらより先に逝くとは何事か

川のひかり冷たく
川の曲がり雪しぐれに染まり
柳と柏林白く白く染まり
寂寥深く深く沈み

ああ しかし その深みから
じっとこらえていると
はるか涯のざわめきが 記憶の滴りが
聞こえてくるのは
これは海のひかりのこぼれる響きだ
とどめようとする記憶にむかって
過ぎ去るものは漏刻の響きにまかせ
もう無理にひきとめようとせずに
いずれその魂の波のなかへ
わしらも入っていくのだから

天資慧敏 闊達洒脱 談論実に卓励風発の概あり
情厚く誼高く 他のために難に赴くを辞さなかった
その河口の波に
きらめく魂を
わしらは忘れない

広い河口の風と砂は
まだ凍てついているが
わしらの次の撮影がまもなくはじまる
その頃
あなたの魂が善闘の勇として
映っていることを
わしらは忘れない

斉藤 征義

むかわ町穂別の高齢者映画制作集団
「田んぼdeミュージカル委員会」事務局長